東広島市立八本松小学校学年通信　第１学年

にこにこ Smile

令和７年７月４日　Ｎｏ.１３

給食は誰が作っているのかな？

６月 27 日（金）に郷田小学校の栄養教諭の片山先生をお招きし、給食はどのように作られているのかを教えていただきました。

給食センターでは、80人の調理員さんが、１万人分（小学校15校、中学校6校）の給食を作っているそうです。給食を作る様子を動画で紹介していただき、材料を一つ一つ丁寧にチェックしている様子や、大きな鍋で力強く混ぜている調理員さんの姿を見せていただきました。

次に、実際に給食センターで使われている道具を見せていただき、子供たち一人一人が大きな木じゃくし（スパテラ）を持って、かき混ぜる体験をしました。

最後に、調理員さんから子供たちにビデオメッセージをいただきました。調理員さんが、自分たちのために、毎日安心安全でおいしい給食を作ってくださっていることを知り、感謝の気持ちをもって、好き嫌いをせず、残さず食べることを考えるよい機会となりました。

たくさんの材料を使っていたり、大きな道具を使っていたり、驚くことがたくさんありました。ちなみにこれは、その日の給食に使われた玉ねぎの数です。

木じゃくしを実際に持ってみると、重たくてびっくりしました。

水泳学習がんばっています!!

天気に恵まれ、1年生の水泳学習も残り2回となりました。

水泳学習では、「浮く」学習につなげるため、「もぐる」ことができるようになることを中心にこれまでの時間は取り組みました。いろいろな動物になって水の中を歩いたり、宝探しをしてみたりと、楽しみながら水に親しんでいます。顔をつけることが、最初の壁!顔をつけることができないと、次の課題である「浮く」活動に進むことができません。水につけたフラフープを潜れることを一つの目標として頑張ってもらっています。顔をつけることが難しいお子さんについては、洗面器等を使って、顔つけの練習を行っていただけたらと思います。

残り2回、浮くことにも挑戦しながら楽しみたいと思います。引き続き、カードの記入・水泳道具の準備をよろしくお願いします。